

緩和ケア病棟における亜鉛欠乏症の実態調査のお知らせ

大阪鉄道病院では以下の研究を行います。本研究は、倫理委員会の審査を受け承認されたのちに、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

【研究課題】 緩和ケア病棟における亜鉛欠乏症の実態調査

【研究目的】 亜鉛欠乏症に伴う症状（皮膚炎、味覚異常、口内炎、脱毛症、難治性褥瘡など）は、患者さんの生活の質(QOL)を損ねますが、終末期がん患者さんを対象とした研究は乏しく、その頻度や関連要因、治療の有効性などは明らかではありません。当緩和ケア病棟では、そのような病態に対して血液検査や亜鉛補充療法などを行っておりますが、今回これらの頻度や薬剤の効果、有害事象を記述し、集計・分析することで、今後の亜鉛欠乏症治療の重要性を明らかにできると考えています。

【研究期間】 2025年3月～2027年3月

【対象・研究方法】 2025年3月から2027年3月に大阪鉄道病院緩和ケア病棟に入院された患者さんを対象に、低亜鉛血症があり、かつ亜鉛欠乏に伴う症状が出現した場合は、ヒスチジン亜鉛あるいは酢酸亜鉛による亜鉛補充療法を行います。なお、本診療は通常行っている診療の範囲内であり、研究のために特別に行うものではありません。調査内容は、性別、年齢、病名などの背景と症状の種類、程度、治療内容、治療効果、有害事象、転帰などです。それらの情報を匿名化し、集計・解析を行います。

【個人情報の取り扱い】 研究対象者には研究用番号を付し匿名化を行います。研究用番号と個人識別情報を結ぶ対応表は研究責任者が管理します。すべてのデータはセキュリティ保護を受けているコンピュータと鍵のかかるキャビネット内で厳重に管理し、情報漏洩に対する安全策を講じます。研究結果の報告、発表に関しては個人を特定される形では公表しません。

【皆さんへのお願い】 対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記へお問い合わせください。なお、承諾の取り消しはいつでも可能です。下記あるいは主治医までお申し出ください。ご承諾いただけない場合も、当科での診療において不利益が生じないことを保証します。ご承諾いただける場合のご連絡は不要です。研究を通した医学の発展へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

研究責任者 大阪鉄道病院 緩和ケア内科部長 清水啓二

住所：大阪市阿倍野区松崎町1丁目2-22

電話：06-6628-2221（代表） FAX：06-6628-4707（代表）